

令和8年度版

長崎県中学校総合体育大会 運営に関わる 危機管理マニュアル



長崎県中学校体育連盟

1	県中総体における対応について（夏季大会）	1
2	県中総体における対応について（秋季大会）	2
3	県中総体における危機管理・避難等について	3
4	駅伝競走大会の緊急時の対応について	4
5	地震発生時の対応	6
6	弾道ミサイル落下の全国瞬時警報システム（Ｊアラート）が鳴った場合の対応	7
7	落雷事故防止のための対応	8
8	令和８年度長崎県中学校総合体育大会（夏季大会）における 熱中症事故の防止について（お願い）	10
9	各競技専門部 熱中症事故防止の対策	12
10	会場掲示用ポスター（不審者対策、熱中症予防）	15

参考資料

1	環境省 熱中症予防情報サイト	17
2	熱中症・台風に関わる県中総体の対応について	18
3	平成３０年度・令和元年度・令和３年度態度決定資料	19

県中総体における対応について（夏季大会）

（申し合わせ・確認事項）

1 各競技の実施（大会要項参照）

大会期間中、実施可能な競技のみ実施する。ただし、実施不可能な競技が生じた場合は、大会本部（主催者）・開催地（主管地）及び競技部長・専門部で協議の上決定する。

2 開始直前・途中の緊急な対応

- （1） 各競技の現地での待機・中断については、競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長が決定する。また、競技によっては可能な限り監督の意見を聞くものとする。ただし、決定後直ちに大会本部（会長）に報告すること。
- （2） 各競技の中止・延期については、競技部長・専門部（審判を含む）・開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）が決定する。

3 各競技会場内での運営上の対応

- （1） 競技会場内での事故（負傷・急病・器物破損・生徒指導上の問題等）についての対応は、競技部長・専門部・開催地（主管地）で協議し、競技部長が決定する。ただし、事後電話ならびに文書（所定の様式）にて大会本部（会長）に報告すること。
- （2） 重大な事故等については、大会本部（会長）の判断を求めること。

4 各競技における審判上の問題

- （1） 審判上の問題については、審判長の判断に任せるものとする。
- （2） 記録に残すべき抗議等の内容については、専門委員長がまとめておき、事後報告すること。

5 その他

- （1） 上記に示されていない事項については、関係者で協議し、最終的にはそれぞれの責任者の判断により対応するものとする。
- （2） 事故（負傷・急病）の対応については、救護担当を中心に対処し、その後の経過・措置状況を十分把握しておき、誠意をもって対応すること。

県中総体における対応について（秋季大会）

（申し合わせ・確認事項）

1 開会式および競技の実施（大会要項参照）

開会式の雨天時の態度決定は、大会本部（主催者）・専門部（場合によっては競技部長含む）・開催地（主管地）が協議の上、大会本部（会長）で決定し、5：30までに各郡市町中体連に連絡する。

荒天時の場合の競技実施は、大会本部（主催者）・競技部長・専門部及び開催地（主管地）で協議の上決定し、5：30までに各郡市町中体連に連絡する。

2 開始直前・途中の緊急な対応

- （1） 開会式の中止・中断、会場・実施方法の変更等については、競技部長・専門部が開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）で決定する。ただし、基本線については事前に協議しておき、各郡市町中体連の了解を受けておく。
- （2） 競技の待機・中断・中止・延期については、競技部長・専門部（審判を含む）・開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）が決定する。競技再開方法については、別に定める（駅伝競走大会の緊急時の対応について）。

3 競技会場内での運営上の対応

- （1） 競技会場内での事故（負傷・急病・器物破損・生徒指導上の問題等）についての対応は、競技部長・専門部・開催地（主管地）で協議し、競技部長が決定する。事後、文書（所定の様式）にて大会本部（会長）に報告すること。
- （2） 重大な事故等については、大会本部（会長）の判断を求めること。

4 競技における審判上の問題

- （1） 審判上の問題については、審判長の判断に任せるものとする。
- （2） 記録に残すべき抗議等の内容については、専門委員長がまとめておき、事後報告すること。

5 その他

- （1） 上記に示されていない事項については、関係者で協議し、最終的にはそれぞれの責任者の判断により対応するものとする。
- （2） 事故（負傷・急病）の対応については、救護担当を中心に対処し、その後の経過・措置状況を十分把握しておき、誠意をもって対応すること。

県中総体における危機管理・避難等について

1 全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った場合の対応

（１） 緊急地震速報

- ① 試合等、生徒たちの動きを止める。
- ② 会場内外の役員、観客にも身を守るよう伝える。
- ③ 安全な場所へ避難させる。

（２） 弾道ミサイル発射

- ① 競技を中断する。
- ② 近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難させる。

安全が確保された上で、教育委員会・大会本部・開催地（主管地）中体連・競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、大会本部（会長）が再開を決定する。

2 光化学オキシダント・PM2.5の警報・注意報等発令時の対応

開催地の健康被害防止措置に応じて、開催地（主管地）中体連・競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長の判断で競技の中断等の対応をとり、被害の防止に努める。

3 雷雲発生時の対応

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、屋外では競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

4 不審者の対応

会場に、不審者対応（注意）に関する張り紙をする。また、試合の前後、合間にアナウンスで注意喚起する。

不審者と判断した場合は、退去を求める。退去しない、もしくは、再び侵入した場合は、危害を加える恐れがあると判断した場合、選手、役員、観客を安全な場所に隔離し、110番通報する。

5 緊急時対応のため専門部・開催地（主管地）中体連の事前準備

- （１） 開催地が定めている気象関係の警報・注意報等発令時の対応を確認しておく。
- （２） 警報・注意報等が発令時に速やかに周知できる連絡体制を整備する。
- （３） 会場の担当者との事前打ち合わせを行う。
- （４） 大会会場の避難経路を確認する。
- （５） AED設置場所を確認しておく。
- （６） 緊急時の専門委員の役割分担を確認する。
- （７） 大会出場者（引率者）・大会役員・補助員等への事前連絡を行う。

※ AED設置場所や避難経路については、できるだけアナウンス等でも周知する。

6 競技の再開について（上記1全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った時を除く）

競技中断後は、警報等が解除され、負傷者等の有無を確認・処置を行い、会場の安全が確認された上で、競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長が再開を決定する。

駅伝競走大会の緊急時の対応について

1. 全国瞬時警報システム（Jアラート）発令時による対応について

（地震情報・津波情報・弾道ミサイル情報など）

- （1） 全国瞬時警報システムが発令時は即座に競技を中断する。競技を中断するためには、アナウンサーによる緊急放送と競技役員からの指示で競技を中断する。
- （2） メッセージを確認して、状況に応じて非難する。
（地震の時は、グラウンドの中央へ。弾道ミサイルは頑丈な建物へ。）
- （3） 行政の指示に従い、実施不可能の場合は大会を延期する。安全が確認できたら競技を再開する。

2. 豪雨による対応について

記録的な豪雨（警報発令）が当日から降っている場合、大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）で参加選手関係者の安全・競技役員の安全を考え実施不可能と判断した場合、大会予備日への延期を決定し、当日 5 時 30 分までに各郡市町中体連に連絡する。

3. 地震による対応について

- （1） 全国瞬時警報システム（Jアラート）の発令を伴わない地震の発生では、走路の亀裂・倒木・地滑り等、競技に支障を及ぼすような被害がなければ競技を実施（継続）する。
- （2） 競技の再開が困難と大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）で判断した場合は競技を中止する。
- （3） 競技を再開する場合は、次の点を考慮し大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）が決定する。
 - ① 余震の恐れがない。
 - ② 走路の亀裂・倒木・地滑り等、競技に支障がない。

4. 落雷について

地震についての対応に準ずる。

5. 競技再開方法について

全国瞬時警報システム（Jアラート）発令時や雷注意報が発令され、危険と判断した場合は中断。全チームの走者が走り終わっている区間のタイム差で、中断時の次の区間を中継点からスタートして再開する。

例 パターン①全てのチームにおいて 3 区の走者が競技中に中断した場合

再スタートは 4 区から。2 区のタイム差で時差スタートする。

パターン② 2 区と 3 区にまたがってレースが行われている際に中断した場合

再スタートは 4 区から。1 区のタイム差で時差スタートする。

パターン③-1

1 区の競技中の中断の場合

2 区一斉スタートで競技を再開する。

③-2

1 区と 2 区にまたがってレースが行われている際に中断した場合

3 区一斉スタート

パターン④最終区競技中の中断の場合

その時点で競技終了する。

6. 成績について

- (1) パターン④で競技を終了した場合には、最終区の中継順で順位をつける。最終区へ中継が完了していない場合は、その前の中継順で順位をつける。

例) 女子の場合

5区への中継が3チーム終了し、残り29チームは4区が競技している場合に競技終了

1位～3位は、5区への中継した順位とする。

4位～32位は、4区に中継した順位とする。

- (2) 中断し、競技を再開した場合には、中断した区間の個人成績はなしとする。

7. レース途中に緊急時の対応を行った場合

上記「5. 競技再開方法について」「6. 成績について」を定めてはいるが、レース中断後（安全が確保された場合）に、臨時の評議員（各郡市町中体連会長）・理事（各郡市町中体連理事長）会を開き、下記内容を専門部と協議し、大会本部（会長）が決定する。

- (1) 可能な限り、延期日に1区からの再レースを実施。

- (2) (1)の場合、オーダーについては原則変更を認めない。災害によるケガ等で出場できない場合は会の承認を得る。

その他、延期日にレースが実施できなかった場合においても、離島部のことを考えると安易に再延期を決定できないため、臨時の評議員・理事会を開き協議することとする。

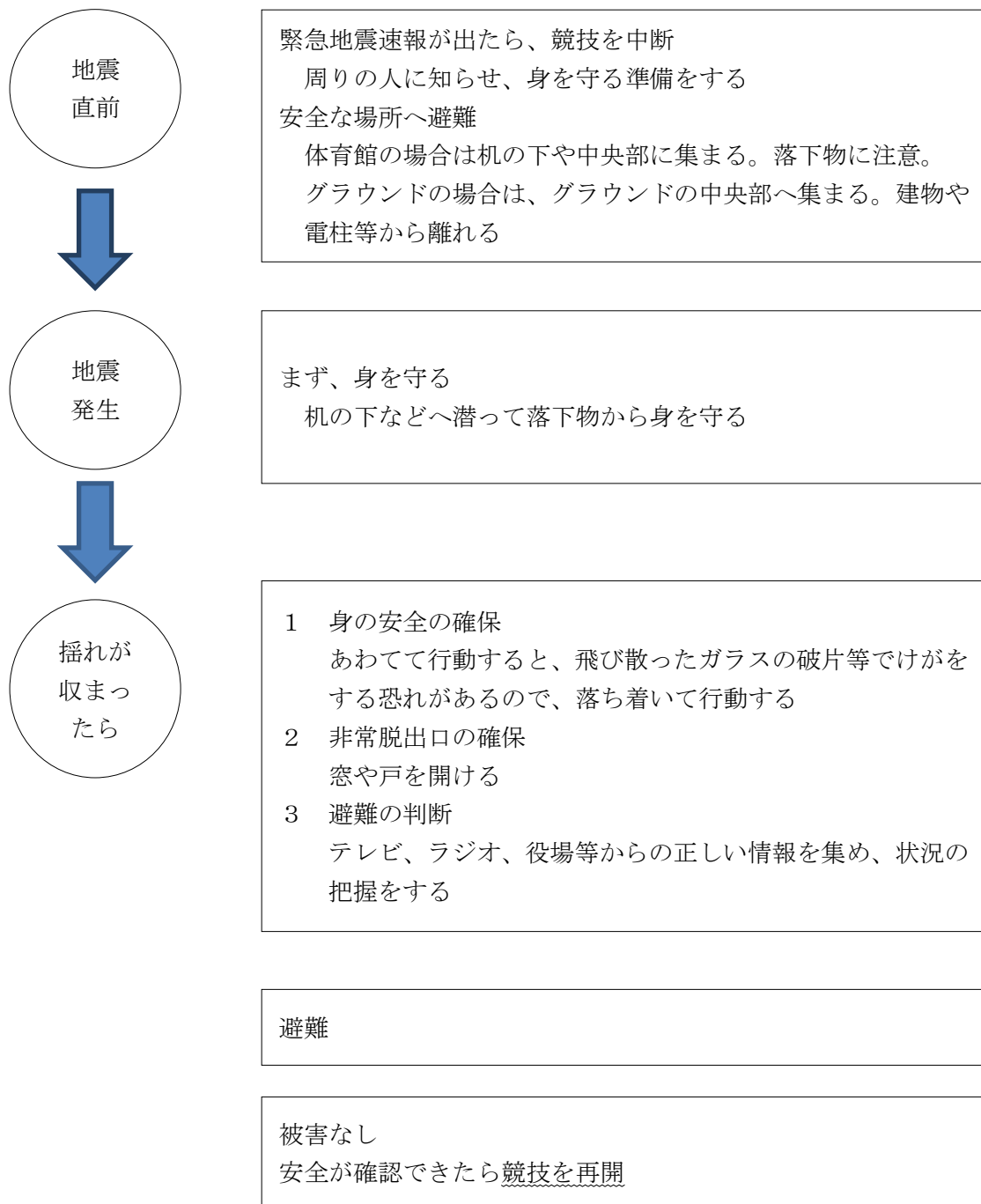
また、災害に伴い、不測の事態が発生した場合も同様とする。

※ 今年度はこの案で対応してみて、反省、課題等がでた場合は次年度に生かしていきたい。

地震発生時の対応

長崎県中学校校体育連盟

1 地震発生時の初動マニュアル



消防庁 地震防災マニュアルより

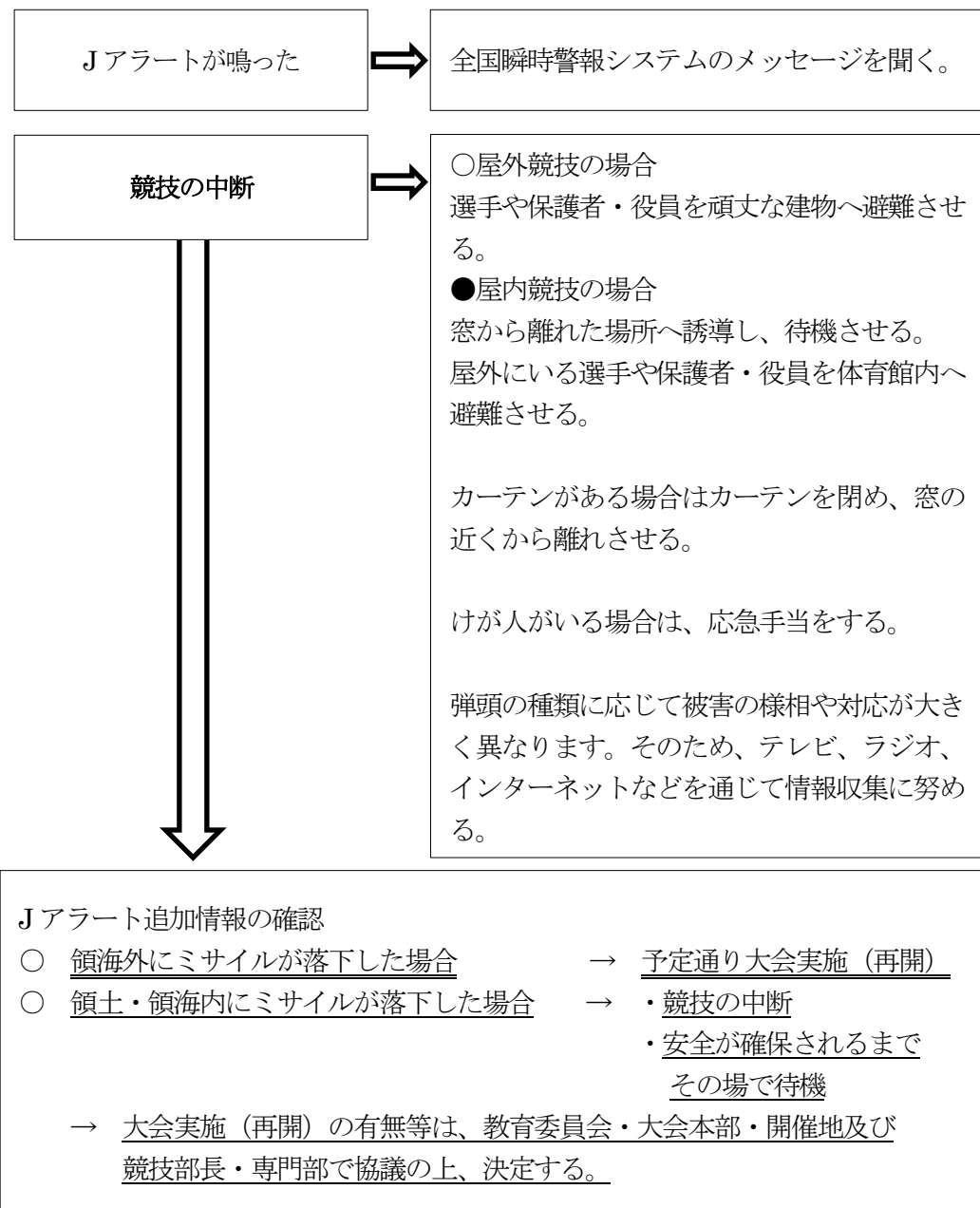
弾道ミサイル落下の全国瞬時警報システム（Jアラート）が

鳴った場合の対応

（１）大会前（当日の朝など）

- ① その時にとれる避難行動を行う。
- ② Jアラート追加情報の確認
 - 領海外にミサイルが落下した場合 → 予定通り大会実施
 - 領土・領海内にミサイルが落下した場合 → 自宅または宿泊施設待機
→ 大会実施の有無等は、教育委員会・大会本部・開催地及び競技部長・専門部で協議の上、決定する。

（２）大会中



落雷事故防止のための対応

(文部科学省「学校の危機管理マニュアル作成の手引き」より一部抜粋)

長崎県中学校体育連盟

1 雷の対応への留意点

(1) 雷は、積乱雲の位置次第で、海面、平野、山岳など場所を選ばず落ち、周囲より高いものにほど落ちやすい。

- ① **直撃雷**…グラウンド等周囲の開けた場所にいると、直接人体に落雷することがあり、その場合、約8割の人が命を落とすと言われている。
- ② **側撃雷**…落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ることがある。

(2) 積乱雲が近づくサイン

- ① 真っ黒い雲が近づいてきた
- ② 急に冷たい風が吹いてきた
- ③ 雷の音が聞こえてきた → **既に危険な状況である**

(3) 気象庁ホームページを活用し、

- ① 「雷注意報」の発表状況
- ② 「**雷ナウキャスト**」の確認(実際にどこで雷発生の可能性が高まる予測となっているのかを地図上で確認できるなどの情報が掲載されている)

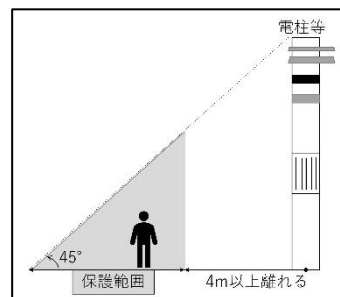
2 避難の留意点(積乱雲が近づいてきたら)

(1) 屋外活動を中断し、速やかに屋内に避難する。

- ① 鉄筋コンクリート建築、自動車、バスの内部は比較的安全である。
- ② 木造建築の内部も基本的に安全だが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れればさらに安全である。

(2) 安全な空間に避難できない場合

- ① 近くに避難する場所がない場合には、低い場所を探してしゃがむなど、できるだけ姿勢を低くするとともに、地面との接地面をできる限り少なくする。
- ② 電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところに退避する。
- ③ 高い木の近くは危険なので、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れる。



3 屋外実施競技における対応

(1) 陸上競技・駅伝

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

(2) サッカー

「サッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針」をもとに活動を行う。

((公財) 日本サッカー協会 HP<https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/rakurai.pdf>)

(3) 軟式野球

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

(4) 相撲

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

(5) ソフトボール

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

(6) ソフトテニス

天候アプリや雷探知機を活用して、施設担当者と連絡をとりながら、非常時は屋根のあるスタンドや室内、車内などへ避難するよう指示する。

(7) ラグビーフットボール

「雷に関する注意（通達）」をもとに活動を行う。

((公財) 日本ラグビーフットボール協会 HP<https://www.rugby-japan.jp/news/37453>)

(8) テニス

「雷雨が接近している場合は、試合を中断することができる。稲妻が目撃されてから 30 秒以内に雷鳴が聞こえたら雷が接近しているので、会場にいる全員が安全な場所に避難するべきである。最後の稲光が目撃されてから 30 分経過し、最後の雷鳴を聞いてから 30 分経過するまでは試合を再開するべきではない。」(JTA テニスルールブック「JTA 公式トーナメント管理関連規則」より)

令和8年6月30日

各郡市町中体連会長 様
関係中学校長 様
長崎県各競技団体会長 様
クラブチーム等代表者 様
長崎県中体連専門委員長 様
応援保護者（関係者） 様

長崎県中学校体育連盟
会長 江川 健一
（公印省略）

令和8年度長崎県中学校総合体育大会（夏季大会）における
熱中症事故の防止について（お願い）

日頃から本連盟の諸行事にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、標記大会が7月25日（土）から27日（月）の3日間（一部別日開催）、佐世保市・大村市・諫早市・西彼杵郡・長崎市の各会場で開催されます。参加する中学生にとって思い出に残る大会となるよう、多くの方々のご協力をいただきながら現在準備を進めております。

その中で、今年度も熱中症事故防止の対策を講じる必要があります。本連盟としては下記のとおり、対策の一案を示させていただきます。例年の慣例にとらわれることなく、競技専門部、主管地をはじめとした各郡市町中体連と十分に協議しながら、生命、安全を第一に大会を運営していきたいと考えております。

つきましては、大会に参加する生徒、役員、応援者等すべての関係者におかれましても、熱中症事故防止に向けたより一層の対策を講じていただくとともに、熱中症事故防止のための大会運営へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

記

1 大会運営に関すること

- （1） 開会式・閉会式を実施しない。
- （2） 大会に参加するすべての関係者に対し、涼しい服装や帽子着用、十分な飲料水、冷却用品の持参など、最大限の熱中症対策を行うよう事前に周知する。
- （3） 生命、安全を第一に守ることが基本。競技規則の一部変更、競技会場の環境や気象状況から判断し、選手・審判・補助員等への水分補給や休息時間の確保及び会場の換気や散水のため、一時中断等もあり得る。
- （4） 試合開始時間や終了時間の変更の検討。2日目は参加チームや主管地（会場）の了承がとれば、開始時間を早めることも可能と考える。また、大会期間中、試合を中断せざるを得なくなった場合、どうしても終了時間が遅くなることが予想される。出場チームの出発時間や帰着時間を考慮しながら終了時間を検討する。
- （5） 場合によっては、試合時間の短縮、一時中断、競技方法（ゲーム数を減らす等）の工夫を行う。
- （6） 全国大会、九州大会の参加チーム（者）を選抜する大会である。優勝チームを決めないといけないう競技もあるが、2チーム九州大会出場の競技は、決勝戦を行わない場合もある。
- （7） 全ての会場に経口補水液、塩分チャージタブレットを準備する。
- （8） 競技専門部でも対策を検討（別紙参照）しているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

- (9) 熱中症特別警戒情報(熱中症特別警戒アラート)発令時の対応について
令和6年4月より、「熱中症特別警戒情報(熱中症特別警戒アラート)」の新設などを内容とする改正気候変動適応法が全面施行された。長崎県中学校総合体育大会開催期間中に同情報が発令された場合には、生徒の生命の安全を最優先し、屋外競技における当該日の競技(屋外での活動を含む)を中止する。

2 施設・サイト等に関すること

- (1) 可能な限り冷房のある休憩室を確保。
- (2) 熱中症計の準備を県本部で行う。
- (3) 環境省熱中症予防情報サイト等よりデータ収集及び今後の予測と確認。

3 応援に関すること

- (1) 応援者に対して、給水・日陰に移動して休養することなどの呼びかけを放送や電光掲示板、案内プラカード等で行う。
- (2) 救急車の要請は大会本部(競技専門部)で行うことをアナウンスする。(状況によってはその限りではない)
- (3) 過去の事例を見ると、応援生徒、補助員、応援保護者等の救急搬送が目立っている。寝不足、食欲不振、体調不良等が熱中症を引き起こす原因となるため、各自で健康管理を十分に行うこと。大会当日に健康観察をしっかりと行い、体調不良の生徒、役員、応援者等がいた場合は、参加させない等の措置をとること。

【お問合せ先】

長崎県中学校体育連盟事務局

理 事 長 佐藤 俊介

☎ 095-800-2112

各競技専門部 熱中症事故防止の対策

注) 試合時間の短縮等の対策は、あくまで(案)であり、試合当日の状況をみて県本部と専門部で話し合い、監督会議等で決定をする。

〈陸上競技〉	- こまめなアナウンスと電光掲示板を使った注意喚起（気象条件、水分補給など） - アップ会場として室内雨天練習場も開放 - レース後すぐ体に冷やせる部屋（冷房の効いた部屋）を準備する。 - タイムテーブルの変更（長距離種目を朝タの時間帯に実施） - 投てき、跳躍種目の待機場所を通路近くの日陰に変更、試技直前に競技場へ移動 3000mにおいては、競技中に水分補給ができるよう準備。また、レース中に外側のコースで散水を行い、水を浴びたい選手には水をかける。
〈水泳競技〉	- 場内アナウンスや電光掲示板でのこまめな注意喚起 - 水や経口補水液等の準備 - 空調設備（エアコン）の使用
〈体操競技〉	- 水等の準備 - アナウンスでの呼びかけ（水分補給・気温湿度など） - エアコンの利用 - プログラム等に『熱中症予防対策』『応急処置』などの啓発資料を差し込んだり、観客席に啓発ポスターを掲示したりする。 - 練習時間の短縮、休憩時間の確保、水分補給や食事の時間を確保する。
〈新体操〉	- アナウンスでの呼びかけ（水分補給・気温湿度など） - プログラムに『熱中症予防対策』『応急処置』などの啓発資料を差込み - 救護係として、水などを準備してもらう。 - 練習時間の短縮、休憩時間の確保
〈バスケットボール〉	- 出場全チームに県本部より送られた熱中症についての資料を配布し、事前にできる準備をして大会に臨むようお願いする。 - 大会初日から全会場で空調を入れて競技を行う。 - 決勝リーグは行わず、トーナメント式優勝戦とする。シード決定戦は行う。
〈バレーボール〉	- WTO（給水のためのタイムアウト）でこまめな水分補給 - 審判員は後部記録席に水分を準備、セット間に水分補給 - 総務（補助員生徒）は、タイムアウトやセット間など、座って休憩・水分補給 - 空調がない会場は、試合間を長めにとり、換気を行う。
〈ハンドボール〉	- 不審者対策のアナウンスと合わせて、こまめに水分補給を行うようにアナウンスを行う。 - 熱中症予防の観点より、空調施設が整っている環境で大会を実施する。 - 給水タイム（前後半に1回ずつ）を設ける。（室内の気温による。） - 試合後のミーティングを屋外で長時間しないように事前に確認する。 - 救護用として、経口補水液や氷などを多めに準備するが、各チームにも熱中症予防の観点から必要なものを、クーラーボックスなどを使って準備しておくように周知する。
〈サッカー〉	- 冷却用氷・スポーツドリンク・経口補水液を準備する。 - 出場チームに熱中症対策を促すメール送信（選手・保護者に対して） - 緊急時は、隣接施設にて対応（空調が入っている） - 各会場に医療スタッフを配置する。 - 前後半（それぞれの半分の時間を経過した頃）に1回ずつ、飲水タイムやクーリングブレイクをとる。 ※決勝戦は3日目、1日2試合目の試合になるため、状況によっては前後半（それぞれ10分おき）に2回ずつ、飲水タイムやクーリングブレイクを取れるようにする。
〈軟式野球〉	4回終了時または試合開始後45分頃を目安に給水タイムをとる。（5分以内） - こまめなアナウンスと電光掲示板を使った注意喚起（気象条件、水分補給など） - 給水タイムの際には、全員がベンチに座って、給水を行うよう指導者に義務付ける。 1イニングが20分を超える場合は、一旦、給水タイムをとる。（3分以内） - 投手及び捕手の水分補給のためのタイム申請はタイム回数にカウントしない。（ただし、指導者の指示が行われた場合、カウントすることもある） - ベンチに日よけのネットを極力設置する。
〈卓球〉	- 監督会議や館内放送にて、水分補給等の熱中症対策を欠かさないように呼びかける。 - 試合が連続する場合は、若干時間をあけて競技を開始する。
〈相撲〉	- クーラーボックスに大量の水を準備 - 選手、観客用にテントを準備 - 適宜、塩をなめさせる。
〈柔道〉	- 会場内におけるこまめな注意喚起 - 個人鞆、団体鞆において試合が連続する場合は、3分間の休憩を入れる。

〈剣道〉	- 個人戦、団体戦において試合が連続する場合は、3分間の休憩を入れる。 - 個人戦と団体戦の代表戦において、延長戦が長引いた場合に下記の対応をとる。 （対応）試合時間3分の後、（延長2分→延長2分→【小休止（深呼吸程度）】→延長2分→延長2分→【面を外しての休息・給水（5分）】）を試合の続く限り繰り返す。 - エアコンのある会場で試合を行う。 - 養護教諭、医療スタッフ等へも熱中症への対応ができるように、準備をお願いする。 - 事前配布資料として熱中症対策についても記載したプリントを配布し、十分な給水と休養を取らせるように周知徹底させる。 - エアコンを常時かける。 - 試合コート数を増やすことにより、競技時間の前倒しをはかる。 - 審判長または競技部長が必要と感じた時には、8点またはゲーム後のインターバルの延長を行うことがある。（8点の時、通常は1分であるが2分 ゲーム後は通常は2分であるが3分） - 試合間隔を通常は5分のところ10分にする。 - 競技役員（駐車場係）については、最大9：30までの役目とする。 - 観客には、エアコンの口をふさがないように呼びかける。 - 競技役員の巡回
〈バドミントン〉	
〈ソフトボール〉	- 給水タイム（完全休息）の設定（4回終了時点、状況によっては3回、5回終了時点にて） - 延長戦になった場合は、7回終了時点で給水タイムを設定 - できるだけ帽子をかぶるよう促す。
〈ソフトテニス〉	- 監督は選手・応援者に朝から健康観察を行い、健康状態を把握する。 - 競技中は選手・応援に関わらず帽子を着用させ、水分補給をこまめに行わせる。 - 各チームにテント、水や氷の準備をさせる。 - 各チームで応援者（特に1年生）には必ず配慮し、体調が悪い際の対応（宿舎に戻るや帰宅するなど）をあらかじめ考えておくようにさせる。 - クーラーボックス、うちわ、日傘（銀色などの反射しないもの）等の熱中症対策ができるものをコートへ持ち込むことを許可する。（ただし、熱中症対策として使用すること） 1ゲームごと、またファイナルゲームのチェンジサイズ時に水分補給を認める。（チェンジサイズ時に水分を審判台下に置いておくこと） - チェンジサイズのコーチングの際には、選手を座らせて水分補給・休憩をとらせる。 - 団体戦の応援については応援選手は必ず座って応援させる。 - 応援選手も水分補給をこまめに行わせる。 - 団体戦、個人戦ともに連続する試合は、休息のために必ず10分あける。（放送で開始時間をお知らせする） - 当日の熱中症指数や進行状況に応じて、一斉に休憩をとる時間を設けることもありうる。 - ハーフトタイムの時間を当日の天候によって変更する場合あり。または、一度空調が整っている施設に入れる。 - エアコンがついている部屋が限られているため、エアコンの部屋を生徒や観客席の保護者にも開放しておく。ただし、試合中は選手ファーストで実施したい。 - アップの時間を40分以内にする。
〈空手道〉	- 空調設備の調節を適宜行い、適切な気温管理に努める。 - 練習会場に扇風機を設置する。 - 試合を続けて行う場合は、個人戦で5分（普通は90秒）、団体戦で10分（普通は5分）に休憩時間を延ばす。
〈デニス〉	- 監督は選手、応援生徒に対し、朝から必ず健康観察を行い、生徒の健康状況を把握する。 - 大会中は、各チームにて選手、応援生徒に対し帽子を着用させ、水分補給をこまめに行わせる。 - 水分補給は熱中症に有効なものを用意させる。 - うちわ、日傘のベンチでの利用を許可する。ただし、熱中症対策として使用する。また、団体戦のベンチに入る指導者も利用を許可するが、うちわについては、フレイ中は使用しない。 - 通常、チェンジサイズのレスト（休憩）時しか給水ができないが、チェンジサービス時にも給水を認める。 - 団体戦、個人戦ともに、試合が連続する場合は、15分間レスト（休憩）をとる。 - 進行状況に応じて、時間の余裕があれば、試合を中断し、一斉にレスト（休憩）を設けることもあり得る。 - 応援生徒には必ず配慮し、体調が悪い際の対応（保護者連絡や帰宅方法など）をあらかじめ考えておくこと。また、体調が悪い場合は無理して応援に来ない、来させない。 - 団体戦の応援については、できるだけ座って応援させる。 - クーリングルーム（エアコン入）を準備し、選手だけでなく、応援生徒・保護者も利用可能とする。 - 敗者SCUは行わず、セルフジャッジとする。（令和8年度から）

令和8年度 長崎県中学校総合体育大会 競技・日程・会場

大会名		長崎県中学校総合体育大会									
競技	期日	7月		主管地	会場	熱中症計		経口 補水液	タブレッツ	保管状況	
		25日(土)	26日(日)			(台)	(No.)				
1	陸上競技	○	○	諫早	トランスコスモスタジアム長崎	1		5	8		
2	相撲	○		諫早	長田こいの広場相撲場	1		5	4		
3	柔道		○	諫早	諫早市小野体育館	1		5	7		
4	ハンドボール	○	○	諫早	諫早市森山スポーツ交流館	1		5	7		
5	剣道	○		諫早	諫早市小野体育館	1		5	4		
6	バドミントン		○	大村	メモリード・シーハットおおむら	1		5	4		
7	空手道		○	大村	メモリード・シーハットおおむら	1		5	7		
8	バスケットボール	○	○	佐世保	長崎県立武道館	1		5	4		
9	卓球	○		佐世保	佐世保市体育文化館	1		5	13		
10	ソフトテニス	○	○	佐世保	佐世保市スポーツ広場体育館	1		5	4		
11	ソフトボール	○	○	佐世保	佐世保市スポーツ広場体育館	1		5	7		
12	水泳競技	○	○	佐世保	佐世保市総合グラウンド庭球場	1		5	8		
13	新体操	○	○	佐世保	佐世保市スポーツ広場ソフトボール場	1		5	8		
14	体操競技		7月12日	長崎	長崎市民総合プール	1		5	7		
15	ラグビーフットボール	○	○	長崎	長崎市民体育館	1		5	4		
16	バレーボール	○	○	長崎	長崎県立総合体育館メインアリーナ	1		5	13		
17	テニス	○	○	長崎	長崎市民体育館	1		5	13		
18	軟式野球	○	○	長崎	ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場	1		5	13		
		○	○	長崎	SUNボールパークかきどまり	1		5	13		
		○	○	長崎	三菱重工長崎造船所スポーツセンター野球場	1		5	8		
		○		長崎	長崎市立三重中学校グラウンド	1		5	4		
19	サッカー	○		西彼杵	時津町立鳴北中学校グラウンド	1		5	4		
		○	○	長崎	ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場	1		5	13		
20	駅伝	○	○	長崎	ベネックス総合運動公園運動広場	1		5	8		
		11月12日(木)		雲仙・南島原	トランスコスモスタジアム長崎及びジョギングコース	1		5	4		
【配付数の目安】※あまりは九州大会で使用する。											
●会場数×経口補水液5本											
●1会場×日数×タブレッツ3袋(熱中症が心配される会場は4袋)											
⇒タブレッツについて、3日間競技は予備+1											
開催地中体連へ予備として、経口補水液各10本、タブレッツ長崎5その他3袋						計		135	192		
⇒県本部は、箱買いができるよう、きりの長くなる数を予備として保持(経口補水液24本/箱、タブレッツ6袋/箱)						→		50	17		
						→		31	13		
								216	222		

不審者警戒中

- 声をかけさせていただくことがあります。
- 不審な方や大会運営に支障をきたす恐れのある方には
ご退場いただく場合があります。
- 場合によっては、110番通報させていただきます。



皆様のご理解とご協力をお願いします。

長崎県中学校体育連盟

熱中症

予防行動を とりましょう!



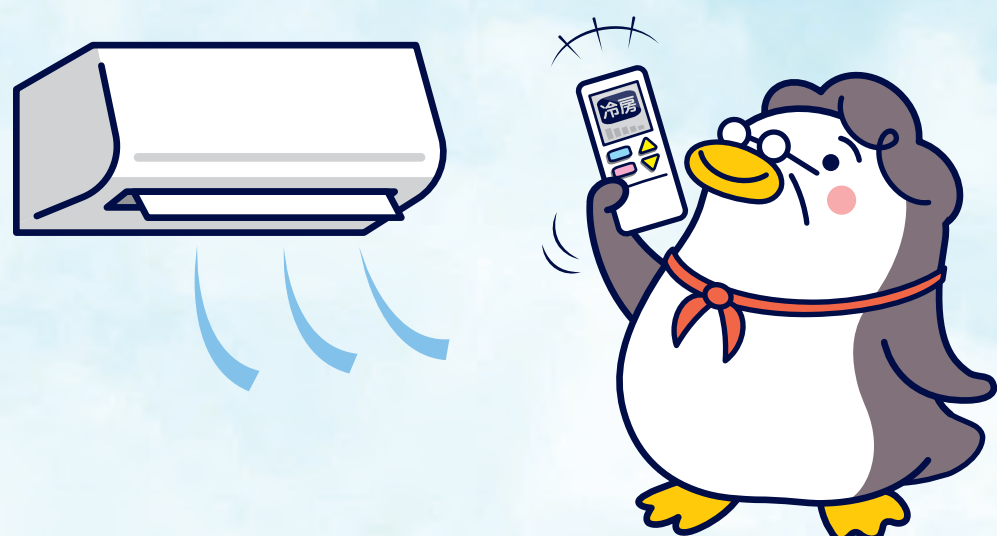
熱中症警戒アラート をチェック!



見守り・声かけ!



適切に エアコンを使おう!



こまめに 水分・塩分を補給!



熱中症は誰でも危険! 油断は大敵です!

より詳しい情報は

熱中症予防情報サイト

検索



内閣府

こども家庭庁

こども家庭庁



消防庁



文部科学省



スポーツ庁



厚生労働省



農林水産省



経済産業省



国土交通省



観光庁



環境省



環境省

全国の暑さ指数(WBGT)

暑さ指数(WBGT)の実況と予測



熱中症・台風に関わる県中総体の対応について

長崎県中学校体育連盟

H30県中総体2日目（29日）一部日程等変更について

長崎県中学校体育連盟

1全般について

① 全ての競技別会場で実施を予定していた開会式を中止する。

※ 生徒の負担軽減のため（熱中症事故防止）。

② ただし、競技初日の競技開始時間に変更しない。

2 台風に伴う警報が発令された（発令されそうな）場合の態度決定について

① 午前11時までに警報が解除された場合 → 「競技実施」

② 午前11時に警報が解除されていない場合 → 「中止・延期」

※ ①②のいずれも、態度決定が行われるまで自宅、宿舎に待機する。

③ 試合実施途中に警報が発令されそうな場合は、県中体連と専門部が協議し、決定した内容を速やかに各郡市町理事長に連絡する。

3 態度決定の伝達方法について

① 県中体連ホームページのトップページ

② 県中体連 → 郡市町中体連 → 各学校 → 参加チーム

③ 県中体連 → 県専門委員長 → 競技部長・競技関係者

※ ①～③を同時進行で行う。

〈試合実施途中に警報が発令されそうな場合〉

④ 県中体連 → 県専門委員長 → 参加チーム

⑤ 県中体連 → 郡市町中体連 → 各学校

※ ④、⑤を同時進行で行う。

台風接近の恐れと熱中症対策のため、下記のとおり、一部競技において日程等変更いたします。

記

① ラグビーフットボール

3位決定戦 10：00開始 → 9：30開始に変更

決 勝 戦 11：00開始 → 10：30開始に変更

② ソフトボール

準 決 勝 10：00開始 → 9：00開始に変更

（ 2 試 合）

③ バレーボール

本来ならば、代表リーグ戦1回戦まで実施予定。場合によっては、2回戦まで行う可能性あり。

④ 軟式野球

本来なら、準々決勝4試合を行う予定だが、場合によっては、準決勝まで行う可能性あり。

※ ①②は決定。

※ ③④については、台風接近の状況を考えて、最終的には、当日（29日）判断する。バレーボールは9：00（予定）に会場で、軟式野球は監督会議で、それぞれ参加校に伝える。

H３０県中総体台風に伴う態度決定資料

○ 7／28（土）

☆ 態度決定実施

佐世保 ５：５０ 大村 なし 諫早 ５：５０ 島原 ５：５０ 長崎 なし
※ 諫早（軟式野球）、ソフトボール、サッカーから実施するとの連絡。

長崎県中体連HP アップ（６：００）

☆ 明日の態度決定

台風接近の恐れと熱中症対策のため、下記のとおり、一部競技において日程等変更

長崎県中体連HP アップ（21：30）

① ラグビーフットボール

3位決定戦 10：00開始 → 9：30開始に変更
決 勝 戦 11：00開始 → 10：30開始に変更

② ソフトボール

準 決 勝 10：00開始 → 9：00開始に変更
（2試合）

③ バレーボール

本来ならば、代表リーグ戦1回戦まで実施予定。場合によっては、2回戦まで行う可能性あり。

④ 軟式野球

本来なら、準々決勝4試合を行う予定だが、場合によっては、準決勝まで行う可能性あり。

※ ①②は決定。

※ ③④については、台風接近の状況を考えて、最終的には、当日（29日）判断する。バレーボールは9：00（予定）に会場で、軟式野球は監督会議で、それぞれ参加校に伝える。

○ 7／29（日）

☆ 態度決定実施

会長と確認（5：25） → HP掲載（予定どおり実施）

長崎地方気象台 夜中から朝方にかけて大雨 夕方までに警報がでる可能性は低い。海上にはでる
上記

③ バレーボール 代表リーグ戦2回戦まで行う。

④ 軟式野球 予定どおり、準々決勝4試合のみ。万が一、30日延期になっても31日に実施できると判断。

注）万が一の場合、ベスト4による抽選もありうることに注意をおした。

HP アップ（9：00）←決定時間&監督会議（軟式野球）のため

☆ 明日の態度決定

※ 昼から夕方にかけて専門部と連絡調整。明日の対応を検討する。

① 軟式野球 別添写真

② 新体操 6：00解除されれば通常実施

11：00解除なし→中止

11：00解除あり→15：00or選手が揃い、準備出来次第開始

③ サッカー 6：00解除されれば通常実施

9：00解除なし→順延

★ 9：00に変更理由 各学校のためにも早く判断したい

9：00解除あり→12：00開始

④ バレー 12：00まで態度決定を延ばしてほしい

★ 試合数が少ないため、運営できる。役員、審判員確保のため、できるだけ順延したく

ない。

12：00解除なし→順延

12：00解除あり→3時間後を目処に試合開始

◎ 朝から警報がなければ、前日試合数を増やしているため12：00開始に変更。

⑤ 卓球 6：00解除されれば通常実施

11：00解除なし→順延、順延の場合、9：00～14：00短縮プログラム

9：00解除あり→12：00開始

11：00解除あり→解除から約2時間後を目処に試合開始

⑥ バスケ 6：00解除されれば通常実施

8：00解除なし→中止、2日目の結果で九州代表を決める

★ 8：00に変更理由 審判役員の確保が困難

8：00解除あり→第1試合12：00開始 第2試合 15：00

☆ 関係郡市町に連絡、卓球以外は専門部から各学校へ。卓球は理事長を通して。

注）上記の件は混乱を招く恐れがあるため、HP アップなし。

○7／30（月）

態度決定実施 5：30～6：00

警報が解除どころかでなかった。よって、前日の計画どおり全競技実施→専門委員長と確認
会長とも確認

↓

理事長連絡網で回す

※ 関係学校への連絡は専門部。卓球のみ理事長から各学校

全競技の実施時間（内容）をHP アップ（6：00）完了

7／27（土）

- (1) 態度決定実施 ※ 前日の会議で確認
- ① 佐世保 5：45 大村 5：50 諫早 なし 西彼杵 なし 長崎 なし
- ② 長崎県中体連 HP アップ（6：00）「予定どおり実施」
- (2) 明日の態度決定の確認 ※ 大会終了後、開催地理事長に確認
- ① 佐世保 5：45 大村 5：50 諫早 なし 西彼杵 なし 長崎 なし
- ② 態度決定の内容を長崎県中体連 HP アップ（6：00）予定
- (3) 中断等
- ソフトテニス 途中雨のため中断

7／28（日）

- (1) 態度決定実施
- ① 佐世保 5：45 大村 5：50 諫早 なし 西彼杵 なし 長崎 なし
- ② 長崎県中体連 HP アップ（6：00）「予定どおり実施」
- (2) 明日の態度決定の確認 ※ 大会終了後、開催地理事長に確認
- ① 佐世保 なし 大村 なし 長崎 なし
- ② 態度決定の内容を長崎県中体連 HP アップ（6：00）予定
- (3) 中断等
- ソフトテニス コートが35℃を超えたため中断 30分程度

7／29（月）

- (1) 態度決定なし
- ① 佐世保 大村 長崎
- ② 長崎県中体連 HP アップ（5：45）「予定どおり実施」
- (2) 長崎に雨が降り出した
- ① サッカー 予定通り実施（8：00 専門委員長と TEL で確認）
- ② 軟式野球 8：00 の役員会で協議する（7：45 専門委員長と TEL で確認）
→会長にこのことをラインで伝える
→9：35 予定通り実施の連絡（専門委員長）→会長へラインで伝える
- (3) 中断等
- 軟式野球 途中雨のため中断 20分程度

7／25（日）

- (1) 態度決定実施 ※ 前日の会議で確認
- ① 佐世保 なし 大村 なし 諫早 なし 島原 6：00 長崎 なし
- ② 島原市中体連から6：00連絡あり
- ③ 長崎県中体連 HP アップ（6：00）「予定どおり実施」
- (2) 明日の態度決定の確認 ※ 大会終了後、開催地理事長に確認
- ① 佐世保 大村 諫早 島原 長崎 すべてなし
- ② 態度決定の内容を長崎県中体連 HP アップ（6：00）予定
- (3) 中断等
- 全競技なし

7／26（月）

- (1) 態度決定実施
- ① 佐世保 大村 諫早 島原 長崎 すべてなし
- ② 態度決定の内容を長崎県中体連 HP アップ（6：00）
- (2) 明日の態度決定の確認 ※ 大会終了後、開催地理事長に確認
- ① 佐世保 諫早 島原 長崎 すべてなし
- ② 態度決定の内容を長崎県中体連 HP アップ（6：00）予定
- (3) 中断等
- 全競技なし

7／27（火）

- (1) 態度決定実施
- ① 佐世保 大村 諫早 島原 長崎 すべてなし
- ② 態度決定の内容を長崎県中体連 HP アップ（6：00）
- (2) 中断等
- 全競技なし